

# 知的財産推進計画2026：コンテンツ基幹産業化と生成AIへの新たな規律

## 計画の3大主要施策



### コンテンツの「基幹産業」化と成長戦略への統合

コンテンツを鉄鋼や半導体産業に匹敵する基幹産業と位置づけ、17の戦略分野にまたがる集中投資を推進します



### 生成AI時代に即した「プリンシプル・コード」の策定

透明性確保や権利者への回答など、法的拘束力を持たない「ソフトロー」による柔軟な規律を導入し、適正な利活用を促します



### 損害回復・利益剥奪型の民事救済措置の検討

知財優越への実効性を高めるため、海外知財優越に対する集団的権利行使（代達集団訴訟）や、新たな換春期債の仕組みを構築します

## 生成AIに関する規律と透明性



- ①透明性確保  
学習データセットの構成明示等の「透明性確保」
- ②権利者対応  
権利者からの開示請求への回答
- ③利用者対応  
利用者からの開示請求への回答



権利者側  
「特束的な法制化」を要求



産業側  
開示負担による「萎縮効果」への懸念

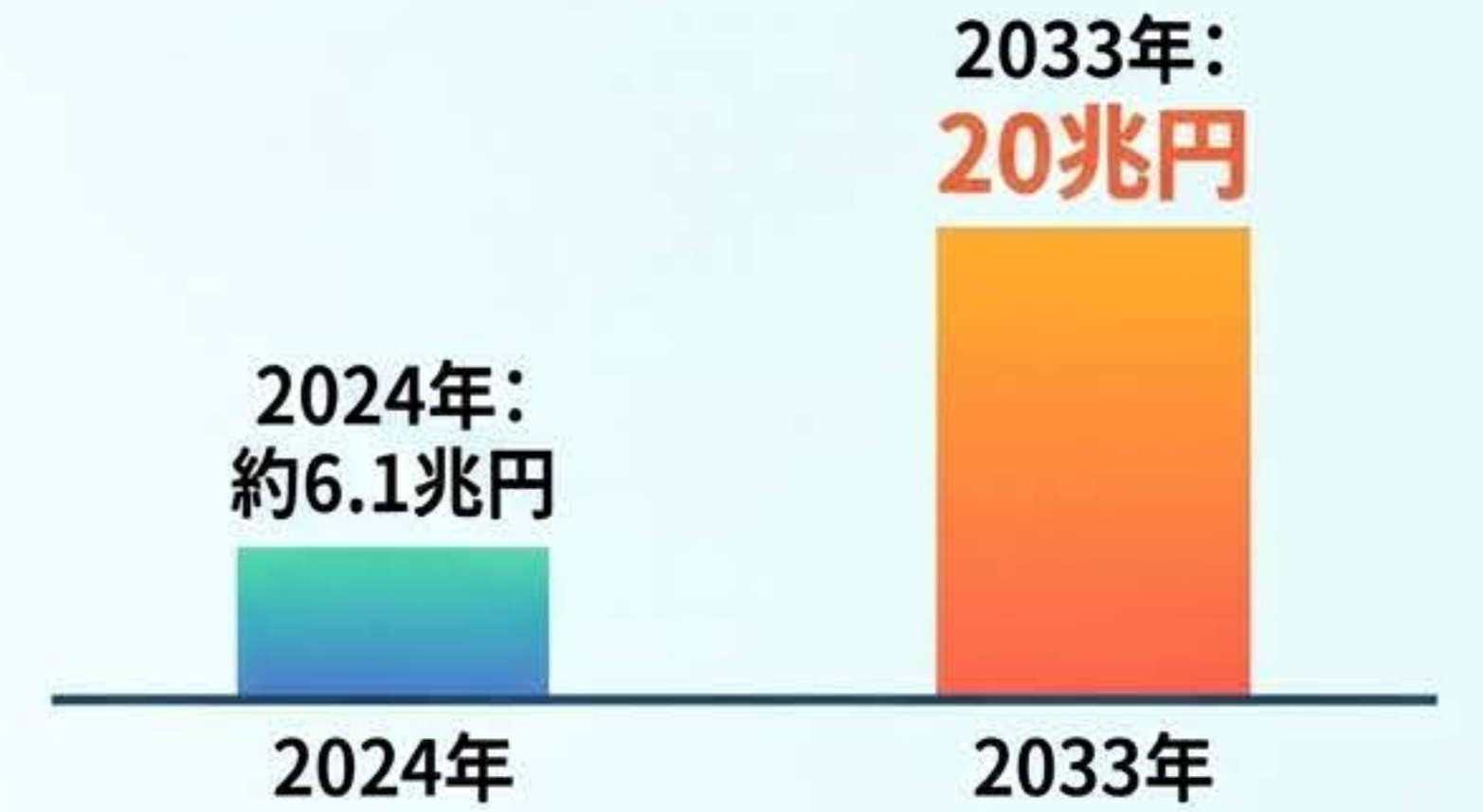


### クリエイターへの対価還元と環境構築

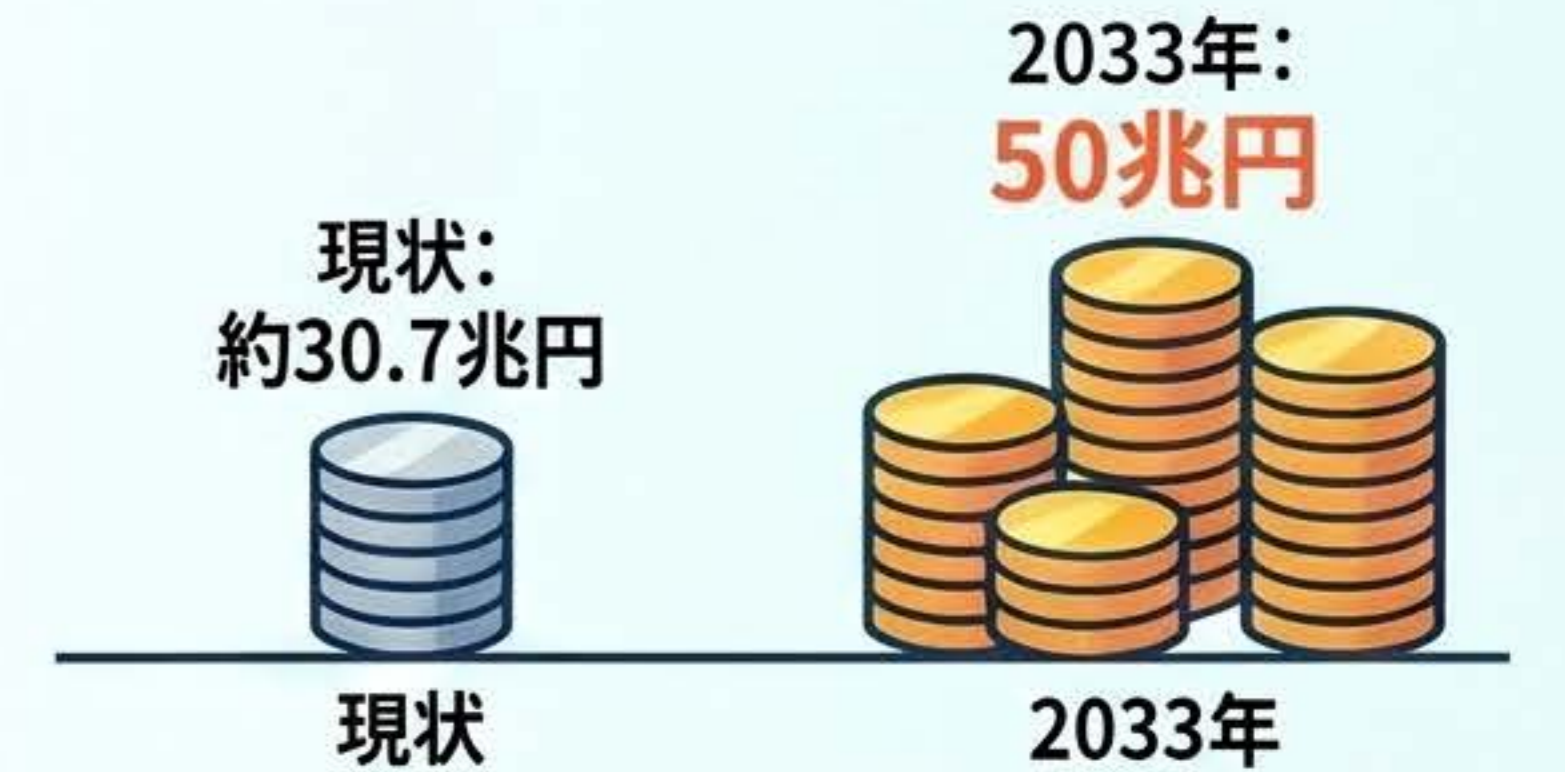
俳優・声優の「声」の模倣に対するパブリシティ権の模倣や、適切な対価還元に向けたガイドライン化を進めます

## 2033年に向けた成長目標と数値データ

### コンテンツ海外市場規模



### クールジャパン関連産業の海外展開



### 国内外のハブ拠点形成

インバウンド消費を通じた「日本ファン」形成のため、2033年までに全国約200か所のコンテンツ地方創生拠点を特定します

## 2025年版からの変化と今後の論点

### 2025年版「IPトランスフォーメーション」



### 2026年度：成長戦略と一体化した「官民投資ロードマップ」



### 令和8年度(2026年度)：実行の鍵



### ソフトローからハードローへの転換点？



プリンシプル・コードの遵守率や、民事務済の法制化の有無が、今後の「判断の分岐点」